



こうごしま 議会だより No. 153

平成 24 年 8 月 31 日 発行 / 神津島村議会 編集 / 議会だより編集委員会 ☎ 04992 (8) 0011
<http://vill.kouzushima.tokyo.jp/> E-mail kouzu@vill.kouzushima.tokyo.jp



神津島 2012 夏の思い出

(右上：子供神輿 左上：大型客船と飛鳥Ⅱ 右下：ビーチバレーリハーサル大会 左下：前浜に並ぶパラソル)

目 次

- ◇ 平成24年第2回定例会（6月19日から29日までの会期）…………… 2
議員自主研修報告、議員講演会報告、専決処分3件、議案1件
- ◇ 一般質問 …………… 3
2名の議員が一般質問
- ◇ その他 …………… 4
議会日誌、編集後記

平成24年第2回定例村議会

議員自主研修報告

■2番(石野田繁一君)

去る5月8日午前10時頃、議員8名、事務局から2名、計10名の参加で、神津飛行場を後にして調布飛行場へ向かう。大宮駅から新幹線あさまに乗り、佐久市に向かった。

3時30分頃、佐久市議会へ表敬訪問。佐久市議会、中沢議長、木内副議長の出迎えを受け懇談。4時10分頃佐久市長を表敬訪問、柳田市長の温かい出迎えを受けた。市長との懇談では、新幹線開通・高速道路開通の話題、田んぼの真ん中につくった佐久平駅の利便性等を聞く。また、柳田市長は、神津島へ何度か来島されており、天上山への登山、赤崎遊歩道等へ行ったときの思い出話を懐かしそうに語っていた。

5月9日、今回の目的の一つ、農業施設を農政課の次長に案内していただき、見学した。初めに、カーネーション栽培施設、そして新種目の試験農場。ここでは、カモミールというハーブの栽培とミニトマトの試験栽培中であった。最後に、リンゴの

オーナー制度を行っている地域の見学、会費2万円でオーナーになれるとのこと。山の中腹にリンゴの木に真っ白い花が咲き乱れて、まるで雪が積もっているようだった。

この日、最後に訪れるところは、広々とした田園の松林の中にある神津一族の新子田の墓地であった。そこには、大きく立派な神津一族の墓と墓標があり、さらに、鎌倉時代と思われる神津一族の歴史を刻んだ石碑もあり、墓と石碑の前にたずみ、遠い昔の日本の歴史を思い巡らせながら感無量のひとときをここで過ごした。そして、神津島から持ってきた浜の砂を各墓標の前にまき、神津の香りを届けてきた。また、案内してくださった佐久市と神津島の友好親善会の神津典男様と熊野大権現祭典の理事長、紀元様の話では、年に1回、3月に70名ほどの人々がこの地に集い、熊野大権現祭典を執り行うとのこと。なぜか懐かしさと親近感がわいてきて、心が満たされる思いがした。

私たち一行は、佐久平駅でしばし休憩し、昼から降り出した

雨の中を一路、渋川へ。5時頃到着し、旅館(岸権)に宿をとる。館内は閑散としていた。旅館の外の様子にも観光客はさほど見当たらない。全国的に不景気の波が影響を及ぼしていることは間違いない。

最後に、今回、神津島議員団の初めての佐久市訪問をよき機会と捉え、佐久市の議員の皆さんとの幅広い交流、また、神津島の子供達のスキー教室の佐久スキー場パラダへの訪問、佐久市からは、各スポーツ、夏の海水浴にと来島を奨励し、活発な交流が一層必要ではないだろうか。また、友好親善都市として幅広い友好関係を一段と発展させ、末長い継続のもとでの交流を望む思いを強いメッセージとして受けとめて帰ってきた。

議員講演会報告

■1番(松本裕一君)

東京都町村議会議長会主催の議員研修会は、5月11日に都内の会場で行われ、東京都の西側に位置する4町村、それと我々伊豆諸島9町村を含む13町村の議員131名、事務局25名、合計156名参加による研修会になった。

講師は、明治大学教授の青山俯(やすし)先生。東京都副知事時代、平成12年に、三宅島噴

火を発端に、神津島、新島を襲った大震災に危機管理防災担当として陣頭指揮に当たっていた

ただいた方で、まだ昨日のように思い出される。「自治体議会と市長、執行機関」の演題で、13町村すべての町村をめぐったこと、島の話に偏ると終わらなくなるので共通の話をしたと言いつつも、島嶼には、災害時指揮も含め、70回以上も渡ったことを感慨深げに語ってくれた。町村議会が機能しているか、機能していないかは、どれだけの政策決定をするかによって住民に評価されるのが議員の価値。行政に関しては、この職員はよくやってくれた、しかし、実現できなかった。それは住民も評価する。そして、議員も評価するべきだ。

基礎自治体の大合併は、1888年で見ると、7万1,314の自治体が合併で1万5,859に、2005年に1,727自治体となったが、日本は自治体を減らし過ぎた。しかし、東京は減らすことは考えなかった。

自治体の発言力を重視し、平成12年の震災時における災害復旧では、400人の若郷住民を守るために、新島、若郷間に140億円を投じてトンネルを開通することになったが、だれも異論なく、

だれも反対しなかった。

小泉総理の改革において民営化が推進されたが、相次ぐ失敗が起こってきた。民営化についての管理責任が最終的に行政責任として判例が下されることも起きてくるので、最後には行政が点検管理するべきことも忘れてはならない。何でも民営化が良いということは危険な思想、弊害が起こることを是正しなければならぬ。

以上、青山先生の講演会の概略であるが、特に島嶼地域にとつて身近な問題も取り上げていただき、大変有意義であったということを申し添え、報告にかえさせていただきます。

専決処分3件

◎承認第3号「神津島税条例の一部を改正する条例」

企画財政課長(前田弘君)平成26年1月1日をもって、寡婦(寡夫)の控除、今まで控除されていたものが廃止となるもの。

9番 税の負担が増えてしまうのではないかと。企画財政課長 そのとおりで、対象者には通知を出すなど対応する。

《原案承認》

◎承認第4号「神津島村国民

健康保険税条例の一部を改正する条例

福祉課長（清水博可君） 長期譲渡所得に係る国民健康保険税の課税の特例等を新たに追加するもの。

《原案承認》

承認第5号「平成23年度東京都神津島村一般会計補正予算（第5号）」

企画財政課長 特別交付税と総合交付金の確定に伴うもの。また、温泉裏山の火災に伴う消耗品の追加。

7番（中村親夫君） 水槽4基購入は火災時の水利確保のためか。

空港消防所長（石田修治君）

そのとおり。

7番 消防ホースを30本購入する理由は。

空港消防所長 温泉裏山火災によりホースが破損したため。

7番 破損の理由は。

空港消防所長 車両によりホースを踏んで1本損傷し、その他は、切った竹によりホースを損傷した。

3番（清水勝彦君） 火災の時に集めた消火器は返却されたのか。また、混雑するので役場以外で回収はできないのか。

空港消防所長 現在も返却されていない消火器があるので、今後も調査していく。

企画財政課長 役場以外で集め

ると、その場所に職員を配置する必要があり、情報のやりとりを考えると、役場で集めた方が良いと考える。

9番（松江孝雄君） 緊急を考えたとき、村がある程度の消火器の本数を確保したらどうか。

空港消防所長 泡消火器などは、ある程度確保した方が良いと考える。

1番 ホースブリッジ（車両通過による破損からホースを保護する器具）は用意していないのか。

空港消防所長 基本的には、すべての車両に搭載している。

1番 ホースバッグ（ホースを持ち運べる鞆）は用意しているのか。

空港消防所長 現在、装備はない。

1番 消防車が入れない場所にホースバッグは有効である。検討してみてもどうか。

空港消防所長 予算の都合が付けば、購入の検討をする。

9番 消火作業用のキャップライトを常備したらどうか。

空港消防所長 平成24年度の東京都防災用品で支給される予定。

《原案承認》

議案1件

◎議案第23号「神津島村印鑑条例の一部を改正する条例」

福祉課長（清水博可君） 住民基本台帳法の一部が改正され、外国人登録原票に登録されていた外国人住民についても住民基本台帳に登録されることとなるのに伴い、条例の一部を改正するもの。

《原案可決》

行政報告に対する質疑

9番 小野上と本村との交流は何年くらい経つのか。

村長（石野田富弘君） 今は合併して洪川市になっている。洪川の交流をしたいと言っている。

また今年も、夏に子供たちが来島する予定になっている。小野上との交流は、私も助役の時代から6回ほど行っているの、8年ぐらいいは経っている。

9番 できるだけ交流を深めるように、ぜひ努力をしていただきたい。

村長 これからも、さらに一層、交流を深め、今ある形をもう少し変えてやっていきたいと考えている。

一般質問

7番 中村親夫君議員

◎村役場の非常用発電設備の現状を伺う

7番 津波等の災害で東京電力神津島内燃力発電所の発電設備

及び配電設備が大きなダメージを受け、島内に送電できなくなった場合、災害対策本部となる村役場及び村役場の施設に設置してある非常用発電設備の設置箇所、発電容量（キロワット）を伺う。

総務課長（中村勝二君） 役場で保有している非常用発電設備の設置箇所は本庁と診療所で容量はそれぞれ32キロワット、24キロワットである。

7番 本庁に設置してある非常用ディーゼル発電機の燃料タンク容量が50リットルと非常に少ない。定格出力で運転した場合4.5時間しか持たない、定格出力で運転しても1日ほどもつような燃料タンクの容量アップを考えたら如何でしょうか。

総務課長 私の認識も議員と同じである。燃料タンクの容量アップについては上司のほうと相談していきたい。

7番 ライフラインで大切な簡易水道の村内供給について伺う。簡易水道給水用井戸ポンプ電源は、商用電源である。5号井戸のみに非常用発電設備が設置してある。商用電源からの供給ができなくなった場合、簡易水道の村内供給が滞ることが想定される。他の井戸にも非常用発電設備を設置したら如何でしょうか。

環境衛生課長（土谷清春君） 平たん沢の5号井戸に関連する

配水池であるが、3号配水池140トン、5号配水池で500トンと断されても3日から4日はもつと考えている。これに非常用発電機を稼働させれば、長い間、水の供給は可能となる。非常用発電機の設置については東京都と協議をした。東京都においても大震災の教訓を踏まえ、補助対象事業として進めていくと回答しているので総事業費を弾き出し、二、三年で完成させたいと考えている。

◎消火栓が使用できない水利の不備な場所での消火活動について伺う

7番 先般の温泉保養センター裏山火災発生時の対応についての検証

①村役場本部と現場の指揮者は確立していたか ②指揮命令系統は機能したか ③ミキサー車と水槽は現状のままいいのか ④過去の類似災害（オオフキ近辺の火災）は生かされたか ⑤今回の消火活動について問題点、改善策等消防団幹部と話し合いがされたか。

総務課長、空港消防所長 役場関係では、村長以下関係職員、消防団では、団長、副団長が各1名、空港消防所長が詰め、現場の指揮には副団長及び事務局があたり、現地本部は温泉保養センター前に設置した。村役場

本部と現場の指揮者及び指揮命令系統は確立、機能したと判断している。水槽については漁協から借用していた。現在1トンの水槽を4基購入したのでこれに対応していきたい。消防団幹部による反省会を4月2日に実施した。住宅火災、山林火災等マニュアル化していきたい。



一般質問

4番 山岸義光議員

◎育児について

4番 小さなお子さんをお持ちの方々と、これからお子さんをお持ちになりたいと思っておられる方々、これから新しく家庭を築こうとされている方々の育児世帯の生活について伺います。

入園するに当たって年齢、障害などの制限があるのか？ 共稼ぎ、母子家庭、父子家庭、また民宿や旅館、漁業や農業をされている方の幼児からでも預かってもらえるのか？ 園児が発熱とかで具合が悪くなっても預かってくれるのか？ 保育園もしくは小学校で1年生から3年生までの低学年の学童保育は

出来ないか？

保育園長(連 奈美江君)

保育園では、2歳から小学校就学前までのお子様を預かってます。障害をお持ちのお子様も健常児と同様に預かりますが、医療行為が必要なお子様に限っては、ご遠慮させていただきます。またどのような家庭のお子さんでもお預かりします。2歳児未満の乳幼児は子供支援センターの一時預かり事業で対応します。具合の悪い園児は預かれませんが、集団生活では、衛生管理に努め集団感染を防ぎます。学童保育については、保育園で午後5時まで園児を預かっているのでできません。

教育課長(藤井小百合君)

小学校では、放課後、学校を開放し、先生が柔軟に対応している。特に必要は感じていない。

4番 一般的に保育園は0歳児からとゆうことなんです、なぜ2歳児からと限定されているのか？

保育園長 以前は3歳児からでしたが2歳児からになりました。

◎住宅について

4番 若者定住促進のために南信州下伊那郡の下條村で、若者で子供がいるか、これから結婚する人に限って入居できる集合住宅を作っています。家賃が2LDKで3万6000円です。この住宅政策で人口が増えたそ

うです。このような住宅をどう思うか伺う。

村長 村営住宅、公営住宅があるが、用地のほとんどが個人の所有であり、賃借料がかなりの額である。私は背伸びをせず、堅実に、着実に、今、村の財政で出来ることをやっていきたい。実際に住宅は不足していて、建設したいが多々問題がある。それらを解決した後に対応していきたい。

◎仕事について

4番 農業で特定農業団体というものを作ると、5年後位には農業生産法人という風にランクアップされ、健康保険に入れたり、いろいろな面で免税を受けられるので、個人個人の農業でなく規模を大きくするよ

うな農業政策は出来ないか。村長 過去に、農業構造改善事業の一環で、農業法人を養豚や養蚕事業を立ち上げたがうまくいかず、解散に当たって、借入金の返済等で辛酸をなめた。田の沢の農業試験施設に参入者を募っても積極的にやる人がいない。

担当課といういろいろ煮詰めていきたい。



議会日誌

平成24年	3月	4月	5月	6月
7日	6日	4日	4日	4日
第1回定例会(22日閉会)	中学校卒業式	長浜 阿波命神社例大祭	佐久バルーンフェス・佐久	大島支庁管内事業説明会
19日	22日	15日	8日	8日
小学校卒業式	小学校・中学校・高校の入学式	日除け雨除け施設完成式典	川市(5月10日まで)	第43回ジュリア祭(10日まで)
26日	24日	17日	11日	9日
都庁各局訪問(港湾局・産業労働局・三宅都議訪問)	議会議決(第152号)	ジュリア祭実行委員会	東京都市村議会議員臨時総会	平成24年度港湾関係要望活動
29日	28日	19日	8日	8日
議会議決(第152号)	議会議決(第152号)	都庁各局訪問(港湾局・産業労働局・三宅都議訪問)	東京都市村議会議員臨時総会	平成24年第2回定例会議
31日	30日	15日	8日	4日
議会議決(第152号)	議会議決(第152号)	都庁各局訪問(港湾局・産業労働局・三宅都議訪問)	東京都市村議会議員臨時総会	議会議決(第152号)

編集後記

季節は少しずつ移ろい夥りゆく。夏、星座の世界でも盛夏に南天で威張っていた大火(中国ではたいかと呼び夏の南天に赤く輝くさそり座の主星)はゆく夏を惜しむかのよう西に傾き、忍びよる秋の気配が感じられるようになりまし

さて神津島村の福祉の現状であります。神津島村では暮してよかったです実感できる島づくりをめざして介護保険法に基づき第5期神津島村介護保険事業及び高齢者保健福祉の策定、併せて「障害者基本法」の理念を踏まえ第3期神津島村障がい福祉計画を本年策定しました。

そして高齢者の介護力を補い、障がい者の通う施設として「社会福祉法人神津島やすらぎの里」があります。「やすらぎの里」は介護保険事業として特養ホーム、ショートステイ、デイサービス等の事業を行っています。又、村役場からの委託事業として生活支援ハウス、地域活動支援センター(通所訓練所)の事業も行っていきます。特に生活支援ハウスは特養と在宅をつなぐ中間施設としての役割をはたして現在入居者が8名となっております。

高齢者保健福祉は、行政のみならず村民に助け合いが必要となります。高齢者自身が生きがいを持ち、自分らしく生きていける環境づくりをめざしていきましょう。

△編集委員長

- 委員長 中村 親夫
- 副委員長 石野田 富士雄
- 委員 清水 栄一
- 委員 石田 隆美智
- 委員 山岸 義光